WHE .	2024年度 / Academic Year 前期	-77	L
学期 / Semester	/First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 3
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29	2024/04/01 ~ 2024/09/29	
必修選択/Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード/Time schedule code	20240590017001	科目番号 / Course code	05900170
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEGR 11119_032		
授業科目名/Course title	ドイツ語 (L1~L4_P1・P2)/Ge	erman	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	清原 明代/Kiyohara Akiyo		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	清原 明代/Kiyohara Akiyo		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	清原 明代/Kiyohara Akiyo		
/Instructor(s)	. (V C PK		
科目分類 / Course Category	A 科目群 外国語科目(初習),: 		<u></u>
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習/Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	L1 ~ L4_P1 • P2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kiyohara_akiyo yahoo.co.jp (メ	くールをする際は、 を@に置き換え	てください。)
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	対面授業日の授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	(ドイツ語・ 共通指導項目より) ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、日常生活や簡単な文章の理解に必要な初級文法事項を 理解する。主として主文の現在形・現在完了形・過去形で、簡単な読解・作文・会話ができる。ド イツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標/Course goals	・発音の基本ルールを理解し、正確な発音で読める。 ・初級文法事項に基づき、簡単な読解、作文、聞き取り、会話ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力/Generic Competence 倫理観/Ethics 多様性の理解/Understanding Diversity 主体性/Autonomy 協働性/Cooperativeness 考えをやり取りする力/Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心/Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験の点数で評価します。ただし、平時の授業態度等で減点する可能性もあります。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course	 詳細は授業計画詳細を参照		
sin satisfies and second sec	【事前学習】授業前に次の授業範囲について目を通し、分からない単語があれば調べておいてください。予習としての練習課題を出す場合もあります(2h)。 【事後学習】復習課題がある場合は、課題を解きながらその回の学習内容を再確認してください。 課題がない場合も、自分なりに学習内容を振り返るようにしてください(2h)。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	・森公成、Frank Riesner 『ドイツ語の泉』同学社 ・独和辞典(初回授業時にはまだ用意していなくても大丈夫です。)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2974 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
	(L-MATE) Supportemit. Hagasakt-t	u.ac.jp	

	担当教員(清原)が福岡市在住のため、長崎大学への出校は県を越えた移動となります。 基本的に対面授業を実施する予定ですが、状況によってオンライン(オンデマンド型)授業に切り
/# +z /p	替わる可能性もあります(最高で授業回数の半数/7回まで)。
備考/Remarks	授業実施予定(対面orオンデマンド)の変更がある場合にはLACSの「連絡事項」でお知らせします
	0
	必ずLACSを確認するようにしてください。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか	N
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	"
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
1支未計 画計細 / Course Schedure	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業オリエンテーション、ドイツ語のアルファベット
第2回	発音(原則・母音)
第3回	発音 (子音)
第4回	発音(数)、動詞の現在人称変化
第5回	発音(時刻・月名等)、動詞の位置、sein
第6回	発音の規則(あいさつ表現)、1課残り
第7回	名詞の性/数/格、haben
第8回	定冠詞、不定冠詞の語尾変化、2課残り
第9回	名詞の複数形、男性弱変化名詞
第10回	werden、3課残り
第11回	動詞の現在人称変化(2)
第12回	命令、nichtの位置、4課残り
第13回	冠詞類
第14回	人称代名詞3格・4格、5課残り
第15回	補足・予備

	2024年度 / Academic Year 前期		
学期 / Semester	/First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択/Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード/Time schedule code	20240590017002	科目番号 / Course code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11119_032		
授業科目名/Course title	ドイツ語 (E1~E7_F1~F3)/G	erman	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	清原 明代/Kiyohara Akiyo		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	清原 明代/Kiyohara Akiyo		
授業担当教員名(オムニバス科目等)			
/ Instructor(s)	清原 明代/Kiyohara Akiyo		
科目分類 / Course Category	A 科目群 外国語科目(初習),:		
対象年次/Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar
教室/Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	E1 ~ E7_F1 ~ F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kiyohara_akiyo yahoo.co.jp(メ	Vールをする際は、 を®に置き換え	てください。)
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078(教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	対面授業日の授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	(ドイツ語 ・ 共通指導項目より)ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、日常生活や簡単な文章の理解に必要な初級文法事項を理解する。主として主文の現在形・現在完了形・過去形で、簡単な読解・作文・会話ができる。ドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標/Course goals	・発音の基本ルールを理解し、正確な発音で読める。 ・初級文法事項に基づき、簡単な読解、作文、聞き取り、会話ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 defectives to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 defectives that comprehensively 		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験の点数で評価します。ただし、平時の授業態度等で減点する可能性もあります。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course	 詳細は授業計画詳細を参照		
since the contents of each lesson and the contents of each l	【事前学習】授業前に次の授業範囲について目を通し、分からない単語があれば調べておいてください。予習としての練習課題を出す場合もあります(2h)。 【事後学習】復習課題がある場合は、課題を解きながらその回の学習内容を再確認してください。 課題がない場合も、自分なりに学習内容を振り返るようにしてください(2h)。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	・森公成、Frank Riesner 『ドイツ語の泉』同学社 ・独和辞典(初回授業時にはまだ用意していなくても大丈夫です。)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2974 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
	(L-WINTE) Support WINT . Hayasakt-	u.αυ. <u>J</u> μ	

	担当教員(清原)が福岡市在住のため、長崎大学への出校は県を越えた移動となります。 基本的に対面授業を実施する予定ですが、状況によってオンライン(オンデマンド型)授業に切り
/# +z /p	替わる可能性もあります(最高で授業回数の半数/7回まで)。
備考/Remarks	授業実施予定(対面orオンデマンド)の変更がある場合にはLACSの「連絡事項」でお知らせします
	0
	必ずLACSを確認するようにしてください。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか	N
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	"
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
1支未計 画計細 / Course Schedure	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業オリエンテーション、ドイツ語のアルファベット
第2回	発音(原則・母音)
第3回	発音 (子音)
第4回	発音(数)、動詞の現在人称変化
第5回	発音(時刻・月名等)、動詞の位置、sein
第6回	発音の規則(あいさつ表現)、1課残り
第7回	名詞の性/数/格、haben
第8回	定冠詞、不定冠詞の語尾変化、2課残り
第9回	名詞の複数形、男性弱変化名詞
第10回	werden、3課残り
第11回	動詞の現在人称変化(2)
第12回	命令、nichtの位置、4課残り
第13回	冠詞類
第14回	人称代名詞3格・4格、5課残り
第15回	補足・予備

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 3
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		l
用碘期 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29	24 /2 VF / 60 //台 】 / 57 24 \ / 0 1 · (-	
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード/Time schedule code	20240590017003	科目番号/Course code	05900170
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEGR 11119_032		
授業科目名/Course title	ドイツ語 (G1~G3)/German		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	葉柳 和則/Kazunori Hayanagi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	葉柳 和則/Kazunori Hayanagi		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	葉柳 和則/Kazunori Hayanagi		
/ Instructor(s)		세 명취의 C	
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習),:		冷羽 (0
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room		て化51番講義室/SGHSS Lecture R	oom No.51
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	G1 ~ G3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hayanagi nagasaki-u.ac.jp(メ		てください。)
担当教員研究室/Office	多文化社会学部2号館(総合教育研		
担当教員TEL/Tel	hayanagi nagasaki-u.ac.jp(メ	ールをする際は、 を@に置き換えて	てください。)
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時。メールでアポを取ってくだ	さい。	
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ドイツ語の基本を身に付ける。		
授業到達目標/Course goals	ドイツ語検定5級合格レベルのドイ	′ツ語運用ができるようになる。	
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 definition tilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	予習・復習の実行状況 (15%) 講義中の取り組み方 (15%) 定期試験 (70%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson			
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習、事後学習は必須。事前学習は30分、事後学習は90分を標準とするが、各課の内容によってその都度指示する。		
キーワード/Keywords	ヒアリング、スピーキング、読解	 、作文、文法、ドイツ語検定	
教科書・教材・参考書/Materials	阿部美規『やさしいドイツ語 初級文法(Grundgrammatik des Deutschen)』同学社(2024) 独和辞典については講義中に指示(使いやすい辞書を紹介するので自分の判断で買わないでください)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2974 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考/Remarks	対面で実施します。		
学生へのメッセージ/Message for students	各回に指示する自宅学習をきちん	とこなすことが何より重要です。	

実務経験のある教員による授業科目であるか	N I
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
	ドイツ語・オランダ語・英語の関係
第1回	アルファベット
	ドイツ語のあいさつ
	つづりと発音の関係
\$20	人称代名詞と動詞の人称変化
第2回	語彙を増やそう
	会話練習
	格変化(1格と4格)
第3回	語彙を増やそう
	会話練習
	haben・sein動詞、語順、決定疑問文
第4回	語彙を増やそう
72.11	会話練習
	名詞の性
第5回	語彙を増やそう
₩	会話練習
	名詞の格変化
第6回	語彙を増やそう
第0回	
	会話練習
~~	複数形
第7回	語彙を増やそう
	会話練習
AN	不規則変化動詞
第8回	語彙を増やそう
	会話練習
	命令形
第9回	語彙を増やそう
	会話練習
	再帰動詞
第10回	語彙を増やそう
	会話練習
	定冠詞類
第11回	語彙を増やそう
	会話練習
	不定冠詞類
第12回	語彙を増やそう
	会話練習
	人称代名詞の格変化
第13回	語彙を増やそう
	会話練習
	前置詞
第14回	語彙を増やそう
75 · · · El	会話練習
\$45 G	
第15回 	まとめ
第16回	試験

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 1
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修/required	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード/Time schedule code	20240590017004	科目番号 / Course code	05900170
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEGR 11119_032		
授業科目名/Course title	ドイツ語 (J1・J2_T1~T4)/G	erman	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	村上 浩明/Murakami Hiroaki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	村上 浩明/Murakami Hiroaki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	村上 浩明/Murakami Hiroaki		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習),		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	7	mass///mx / course cry to	IXE / Commun
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	J1 · J2_T1 ~ T4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	murakami tc.nagasaki-gaigo.ac	in(メールをする際は を®に置	
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室	· ib () · We) shirts elect	CJX/LCC/ICCVIII)
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	 授業の前後		
担当教員オフィステラ /OTTICE Hours		スター1, 日堂生活や簡単な文音の	
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、日常生活や簡単な文章の理解に必要な初級文法事項を 理解する。主として主文の現在形・現在完了形・過去形で、簡単な読解・作文・会話ができる。ド イツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標/Course goals	1 . ドイツ語の発音の基本ルールを理解し、正確な発音で読める。 2 . ドイツ語の初級文法に基づき、簡単な読解、作文、聞き取り、会話ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding		
しい力 (1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through	Diversity 主体性/Autonomy		えをやり取りする力 / Ability
the course (pick 1 to 3)	to exchange ideas 国際・地域	或社会への関心/Interest in inter	national / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への参加状況: 20% 課題・小テスト: 30% 定期試験: 50%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回、最低1時間の予習・復習が必要です。 授業で練習したキーフレーズは何度も練習して書けるようにしておいて下さい。 教科書の練習問題等を課題とすることがあるので、その際にはしっかり準備して授業に臨んで下さい。		
キーワード/Keywords	ドイツ語、動詞の現在人称変化、名詞の格変化、冠詞類、前置詞		
教科書・教材・参考書/Materials	清野智昭著『Lernplatz Deutsch((ドイツ語の広場)』、同学社、2019	9年。
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2974		
		X) 095-819-2974	

備考/Remarks	授業は原則対面で行います。事情により学期に数回オンラインで授業を行う可能性もありますが、 その場合は事前にLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか	N
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N .
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業オリエンテーション
第1回	Lektion 1 挨拶とアルファベート
第2回	Lektion 1 挨拶とアルファベート
第3回	Lektion 2 動詞の現在人称変化(1)
第6日	(動詞の位置)
第4回	Lektion 2 動詞の現在人称変化(1)
	(動詞の位置)
第5回	Lektion 3 動詞の現在人称変化(2)
第6回	Lektion 3 動詞の現在人称変化(2)
第7回	Lektion 4 名詞の1格と4格、複数形
	(名詞の性、定冠詞、不定冠詞)
第8回	Lektion 4 名詞の1格と4格、複数形
	(名詞の性、定冠詞、不定冠詞)
第9回	Lektion 4 名詞の1格と4格、複数形
<u></u> 第10回	(Ja, Nein, Doch の使い方) Lektion 5 不規則動詞の現在人称変化、所有冠詞、3格
第11回 ———————————————————————————————————	Lektion 5 不規則動詞の現在人称変化、所有冠詞、3格
第12回	Lektion 5 不規則動詞の現在人称変化、所有冠詞、 3 格
\$40 0	(命令形)
第13回 	Lektion 6 前置詞
第14回 	Lektion 6 前置詞
第15回	Lektion 6 前置詞
第16回	定期試験

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 2
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択/Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード/Time schedule code	20240590017005	科目番号 / Course code	05900170
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEGR 11119_032		
授業科目名/Course title	ドイツ語 (J3_T5~T9) / German	n	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	竹田 桜/Sakura Takeda		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	竹田 桜/Sakura Takeda		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	竹田 桜/Sakura Takeda		
/ Instructor(s)	171 127 041141 4 1411044		
科目分類/Course Category	A 科目群 外国語科目(初習),:	外国語科目	
対象年次/Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar
教室/Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	J3_T5 ~ T9		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kirsch2011dasenka gmail.com(してください。)
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、日常生活や簡単な文章の理解に必要な初級文法事項を 理解する。		
授業到達目標/Course goals	・発音の基本ルールを理解する。 ・初級文法事項に基づき、簡単な読解、作文、聞き取り、会話ができるようになる。 ・ドイツ語検定5級合格レベルのドイツ語運用ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力/Generic Competence 倫理観/Ethics 多様性の理解/Understanding Diversity 主体性/Autonomy 協働性/Cooperativeness 考えをやり取りする力/Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心/Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br-/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への参加状況 (25%) 予習・復習への取り組み (25%…状況に応じて宿題チェックや習熟度確認テストを行います) 定期試験 (50%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(事前学習)授業前に次の範囲について目を通し、分からない単語があれば調べておくこと。 指示された部分の音読をしておくこと(60分)。 (事後学習)状況に応じて宿題チェックや習熟度確認テストを行います。しっかり復習をしてください(60分)。実施方法については講義中に説明します。		
キーワード/Keywords	発音、聴解、文法、読解、作文、	ドイツ語検定	
教科書・教材・参考書/Materials	・清野智昭 『ドイツ語の時間 話すための文法 web練習問題付』朝日出版社 *生協書籍部で購入してください。 ・独和辞典		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	・やむを得ない事情がない限り、毎回出席すること。 ・再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。 ・独和辞典を必ず持参してください。辞書を持ってきているという前提で授業を進めます。		

	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会		
アクセンビリティ/Accessibility (for students	的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下		
with disabilities)	ວເາ.		
with disabilities)	アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先		
	(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2974		
	(E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
	■・授業は対面形式で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合		
	もあります。その場合はLACSで連絡します。		
	・「ドイツ語共通指導項目」に記載の以下の項目につきましては、授業の中で適宜扱うこととして ************************************		
備考/Remarks	おります。 ・定冠詞・不定冠詞		
	* ドイツ語共通指導項目		
	https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/general/syllabus/file/german-		
	kyoutsuushidoukoumoku.pdf		
学生へのメッセージ/Message for students	授業への取り組みも成績に反映されますので、積極的に参加してください。		
実務経験のある教員による授業科目であるか			
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N		
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教			
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使			
用)/Name / Details of practical experience /			
Contents of course			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
	授業オリエンテーション *対面		
第1回	ドイツ語の文字と発音(1)		
	ドイツ語の基本的あいさつ		
第2回	ドイツ語の文字と発音(2) *対面		
까	Lektion 1 動詞の現在人称変化と語順(1)		
第3回	Lektion 1 動詞の現在人称変化と語順(2) *対面		
第4回	Lektion 1 動詞の現在人称変化と語順(3) *対面		
第5回	Lektion 2 名詞の性と格変化(1格と4格)、重要な動詞(1) *対面		
第6回	Lektion 2 名詞の性と格変化(1格と4格)、重要な動詞(2) *対面		
	Lektion 2 名詞の性と格変化(1格と4格)、重要な動詞(3) *対面		
第7回	ja, nein, dochの使い方		
第8回	前期まとめ *対面		
第9回	Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格(1) *対面		
第10回	Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格(2) *対面		
第11回	Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格(3) *対面		
第12回	Lektion 4 前置詞(1) *対面		
第13回	Lektion 4 前置詞(2) *対面		
第14回	Lektion 4 前置詞(2)		
第15回 第46回	前期まとめ *対面		
第16回	定期試験 *対面		

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 3
開講期間/Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード/Time schedule code	20240590017006	科目番号 / Course code	05900170
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11119_032		
授業科目名/Course title	ドイツ語 (M4~M6_K1~K3)/G	erman	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	竹田 桜/Sakura Takeda		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	竹田 桜/Sakura Takeda		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	竹田 桜/Sakura Takeda		
		사 모두지 C	
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習),:		(字 RR / Camira a
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	M4 ~ M6_K1 ~ K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kirsch2011dasenka gmail.com(メールをする際は、 を@に置き換え	にてください。)
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078(教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、日常生活や簡単な文章の理解に必要な初級文法事項を 理解する。		
授業到達目標/Course goals	・発音の基本ルールを理解する。 ・初級文法事項に基づき、簡単な読解、作文、聞き取り、会話ができるようになる。 ・ドイツ語検定5級合格レベルのドイツ語運用ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力 (1 つ以上 3 つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 b. B.		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への参加状況 (25%) 予習・復習への取り組み (25%…状況に応じて宿題チェックや習熟度確認テストを行います) 定期試験 (50%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson			
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(事前学習)授業前に次の範囲について目を通し、分からない単語があれば調べておくこと。 指示された部分の音読をしておくこと(60分)。 (事後学習)状況に応じて宿題チェックや習熟度確認テストを行います。しっかり復習をしてください(60分)。実施方法については講義中に説明します。		
キーワード/Keywords	発音、聴解、文法、読解、作文、	<u></u> ドイツ語検定	
教科書・教材・参考書/Materials	・清野智昭 『ドイツ語の時間 話すための文法 web練習問題付』朝日出版社 *生協書籍部で購入してください。 ・独和辞典		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	・やむを得ない事情がない限り、毎回出席すること。 ・再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。 ・独和辞典を必ず持参してください。辞書を持ってきているという前提で授業を進めます。		

	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会		
アクセンビリティ/Accessibility (for students	的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下		
with disabilities)	ວເາ.		
with disabilities)	アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先		
	(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2974		
	(E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
	■・授業は対面形式で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合		
	もあります。その場合はLACSで連絡します。		
	・「ドイツ語共通指導項目」に記載の以下の項目につきましては、授業の中で適宜扱うこととして ************************************		
備考/Remarks	おります。 ・定冠詞・不定冠詞		
	* ドイツ語共通指導項目		
	https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/general/syllabus/file/german-		
	kyoutsuushidoukoumoku.pdf		
学生へのメッセージ/Message for students	授業への取り組みも成績に反映されますので、積極的に参加してください。		
実務経験のある教員による授業科目であるか			
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N		
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教			
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使			
用)/Name / Details of practical experience /			
Contents of course			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
	授業オリエンテーション *対面		
第1回	ドイツ語の文字と発音(1)		
	ドイツ語の基本的あいさつ		
第2回	ドイツ語の文字と発音(2) *対面		
까	Lektion 1 動詞の現在人称変化と語順(1)		
第3回	Lektion 1 動詞の現在人称変化と語順(2) *対面		
第4回	Lektion 1 動詞の現在人称変化と語順(3) *対面		
第5回	Lektion 2 名詞の性と格変化(1格と4格)、重要な動詞(1) *対面		
第6回	Lektion 2 名詞の性と格変化(1格と4格)、重要な動詞(2) *対面		
	Lektion 2 名詞の性と格変化(1格と4格)、重要な動詞(3) *対面		
第7回	ja, nein, dochの使い方		
第8回	前期まとめ *対面		
第9回	Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格(1) *対面		
第10回	Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格(2) *対面		
第11回	Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格(3) *対面		
第12回	Lektion 4 前置詞(1) *対面		
第13回	Lektion 4 前置詞(2) *対面		
第14回	Lektion 4 前置詞(2)		
第15回 第46回	前期まとめ *対面		
第16回	定期試験 *対面		

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期	嗯口,校時 / Day , Pariod	金/Fri 4
子别 / Sellester	/First Semester	曜日・校時 / Day・Period	並 / 「 11 4
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29	1	
必修選択/Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード/Time schedule code	20240590017007	科目番号 / Course code	05900170
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEGR 11119_032		
授業科目名/Course title	ドイツ語 (M1~M3_D1・D2)/G	erman	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	竹田 桜/Sakura Takeda		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	竹田 桜/Sakura Takeda		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	竹田 桜/Sakura Takeda		
科目分類/Course Category	A科目群 外国語科目(初習),		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15	,	
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	M1 ~ M3_D1 • D2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kirsch2011dasenka gmail.com(メールをする際は、 を@に置き換え	
担当教員研究室/Office			
世当教員TEL/Tel	095-819-2078(教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、日常生活や簡単な文章の理解に必要な初級文法事項を 理解する。		
授業到達目標/Course goals	・発音の基本ルールを理解する。 ・初級文法事項に基づき、簡単な読解、作文、聞き取り、会話ができるようになる。 ・ドイツ語検定5級合格レベルのドイツ語運用ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力/Generic Competence 倫理観/Ethics 多様性の理解/Understanding Diversity 主体性/Autonomy 協働性/Cooperativeness 考えをやり取りする力/Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心/Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 vtilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 btudents' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される btr>/ Activities that comprehensively Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される btr>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への参加状況 (25%) 予習・復習への取り組み (25%…状況に応じて宿題チェックや習熟度確認テストを行います) 定期試験 (50%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(事前学習)授業前に次の範囲について目を通し、分からない単語があれば調べておくこと。 指示された部分の音読をしておくこと(60分)。 (事後学習)状況に応じて宿題チェックや習熟度確認テストを行います。しっかり復習をしてください(60分)。実施方法については講義中に説明します。		
キーワード/Keywords	発音、聴解、文法、読解、作文、		
教科書・教材・参考書/Materials	・清野智昭 『ドイツ語の時間 *生協書籍部で購入してくださ ・独和辞典	話すための文法 web練習問題付』	朝日出版社
受講要件(履修条件)/Prerequisites	・やむを得ない事情がない限り、毎回出席すること。 ・再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。 ・独和辞典を必ず持参してください。辞書を持ってきているという前提で授業を進めます。		

	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会	
	で聞く子とは、主との子主が千寺に教育を受ける機会を確保するため、修子の別けとなり待る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに	
	ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下	
アクセシビリティ/Accessibility (for students	さい。	
with disabilities)	アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先	
	(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2974	
	(E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
	・授業は対面形式で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合	
	もあります。その場合はLACSで連絡します。	
	・「ドイツ語共通指導項目」に記載の以下の項目につきましては、授業の中で適宜扱うこととして	
備考/Remarks	おります。 ・定冠詞・不定冠詞	
	・ ただ詞・	
	https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/general/syllabus/file/german-	
	kyoutsuushidoukoumoku.pdf	
学生へのメッセージ/Message for students	授業への取り組みも成績に反映されますので、積極的に参加してください。	
実務経験のある教員による授業科目であるか	N.	
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	IN Control of the con	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教		
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使		
用)/Name / Details of practical experience /		
Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents	
	授業オリエンテーション *対面	
第1回	ドイツ語の文字と発音(1)	
	ドイツ語の基本的あいさつ	
第2回	ドイツ語の文字と発音(2) *対面 Lektion 1 動詞の現在人称変化と語順(1)	
第3回	Lektion 1 動詞の現在人称変化と語順(2) *対面	
第4回	Lektion 1 動詞の現在人称変化と語順(3) *対面	
	` '	
第5回	Lektion 2 名詞の性と格変化(1格と4格)、重要な動詞(1) *対面 Lektion 2 名詞の性と格変化(1格と4格)、重要な動詞(1) *対面	
第6回	Lektion 2 名詞の性と格変化(1格と4格)、重要な動詞(2) *対面	
第7回	Lektion 2 名詞の性と格変化(1格と4格)、重要な動詞(3) *対面 ja, nein, dochの使い方	
筆8回	前期丰とめ *対面	
第8回	前期まとめ *対面 「はよtion 3 不相則動詞の現在人称恋化 名詞の複数形と3枚(1) *対面	
第9回	Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格(1) *対面	
第9回	Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格(1) *対面Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格(2) *対面	
第9回 第10回 第11回	Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格(1) *対面Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格(2) *対面Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格(3) *対面	
第9回 第10回 第11回 第12回	Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格(1) *対面Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格(2) *対面Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格(3) *対面Lektion 4 前置詞(1) *対面	
第9回 第10回 第11回 第12回	Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格(1) *対面 Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格(2) *対面 Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格(3) *対面 Lektion 4 前置詞(1) *対面 Lektion 4 前置詞(2) *対面	
第9回 第10回 第11回 第12回	Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格(1) *対面Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格(2) *対面Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格(3) *対面Lektion 4 前置詞(1) *対面Lektion 4 前置詞(2) *対面Lektion 4 前置詞(3) *対面	
第9回 第10回 第11回 第12回	Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格(1) *対面 Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格(2) *対面 Lektion 3 不規則動詞の現在人称変化、名詞の複数形と3格(3) *対面 Lektion 4 前置詞(1) *対面 Lektion 4 前置詞(2) *対面	

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期	曜日・校時 / Day・Period	月/Mon 3
TAIL COMESTER	/Second Semester	/ Second Semester	
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択/Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード/Time schedule code	20240590019001	科目番号/Course code	05900190
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEGR 11219_032		
授業科目名/Course title	ドイツ語 (L1~L4_F1~F3)/G	erman	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	清原 明代/Kiyohara Akiyo		
授業担当教員名(科目責任者) /Instructor in charge of the course	清原 明代/Kiyohara Akiyo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	清原 明代/Kiyohara Akiyo		
科目分類/Course Category	A 科目群 外国語科目(初習),:	外国語科目	
対象年次/Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar
教室/Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	L1 ~ L4_F1 ~ F3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kiyohara_akiyo yahoo.co.jp(>	くールをする際は、 を@に置き換え	てください。)
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	対面授業日の授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	(ドイツ語 ・ 共通指導項目より) ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、日常生活や簡単な文章の理解に必要な初級文法事項を理解する。主として主文の現在形・現在完了形・過去形で、簡単な読解・作文・会話ができる。ドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標/Course goals	・発音の基本ルールを理解し、正確な発音で読める。 ・初級文法事項に基づき、簡単な読解、作文、聞き取り、会話ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力/Generic Competence 倫理観/Ethics 多様性の理解/Understanding Diversity 主体性/Autonomy 協働性/Cooperativeness 考えをやり取りする力/Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心/Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 br>/ Activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 clize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験の点数で評価します。ただし、平時の授業態度等で減点する可能性もあります。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course	 詳細は授業計画詳細を参照		
sin satisfies and second sec	【事前学習】授業前に次の授業範囲について目を通し、分からない単語があれば調べておいてください。予習としての練習課題を出す場合もあります(2h)。 【事後学習】復習課題がある場合は、課題を解きながらその回の学習内容を再確認してください。 課題がない場合も、自分なりに学習内容を振り返るようにしてください(2h)。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	・森公成、Frank Riesner 『ドイツ語の泉』同学社 ・独和辞典		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2974 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
	I (= mill) Supportent . Hayasaki -	a.ac.jp	

備考/Remarks	担当教員(清原)が福岡市在住のため、長崎大学への出校は県を越えた移動となります。 基本的に対面授業を実施する予定ですが、状況によってオンライン(オンデマンド型)授業に切り 替わる可能性もあります(最高で授業回数の半数/7回まで)。 授業実施予定(対面orオンデマンド)の変更がある場合にはLACSの「連絡事項」でお知らせします
	。 必ずLACSを確認するようにしてください。
学生へのメッセージ/Message for students	2 / I to Cappy Son Fig. 5
実務経験のある教員による授業科目であるか	NI NI
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	IN .
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	前置詞、融合形
第2回	従属接続詞と副文、6課残り
第3回	話法の助動詞
第4回	未来形、7課残り
第5回	分離動詞、非分離動詞
第6回	再帰、非人称主語es、8課残り
第7回	形容詞の格変化
第8回	形容詞の名詞化、比較、9課残り
第9回	動詞の三基本形
第10回	動詞の三基本形、過去形、10課残り
第11回	完了形(主に現在完了形)等
第12回	受動態
第13回	zu不定詞・分詞、12課残り
第14回	指示代名詞・関係代名詞
第15回	補足、予備

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
	/ Second Semester	TELL IXAN POLICE	7,7 111011
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択/Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード/Time schedule code	20240590019002	科目番号 / Course code	05900190
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEGR 11219_032		
授業科目名/Course title	ドイツ語 (E1~E7_P1・P2)/G	erman	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	清原 明代/Kiyohara Akiyo	清原 明代/Kiyohara Akiyo	
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	清原 明代/Kiyohara Akiyo	清原 明代/Kiyohara Akiyo	
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	清原 明代/Kiyohara Akiyo		
科目分類 / Course Category	A 科目群 外国語科目(初習),:		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	7	m932///EX / Course Style	/A E / Commun
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	E1 ~ E7 P1 • P2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kiyohara_akiyo yahoo.co.jp(>		
	it it it it it it it it	、一かをする际は、 をまに直さ換え	C(ICOVI)
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	対面授業日の授業前後	12.	
授業の概要及び位置づけ/Course overview	(ドイツ語・ 共通指導項目より) ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、日常生活や簡単な文章の理解に必要な初級文法事項を 理解する。主として主文の現在形・現在完了形・過去形で、簡単な読解・作文・会話ができる。ド イツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標/Course goals	・発音の基本ルールを理解し、正確な発音で読める。 ・初級文法事項に基づき、簡単な読解、作文、聞き取り、会話ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	Diversity 土体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする月 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 br>/ Activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 br>/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	定期試験の点数で評価します。ただし、平時の授業態度等で減点する可能性もあります。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Course	 詳細は授業計画詳細を参照		
contents of each lesson 事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【事前学習】授業前に次の授業範囲について目を通し、分からない単語があれば調べておいてください。予習としての練習課題を出す場合もあります(2h)。 【事後学習】復習課題がある場合は、課題を解きながらその回の学習内容を再確認してください。 課題がない場合も、自分なりに学習内容を振り返るようにしてください(2h)。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	・森公成、Frank Riesner 『ドイツ語の泉』同学社 ・独和辞典		
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2974		
	(E-MAIL) support@ml.nagasaki-	u.ac.jp	

備考/Remarks	担当教員(清原)が福岡市在住のため、長崎大学への出校は県を越えた移動となります。 基本的に対面授業を実施する予定ですが、状況によってオンライン(オンデマンド型)授業に切り 替わる可能性もあります(最高で授業回数の半数/7回まで)。 授業実施予定(対面orオンデマンド)の変更がある場合にはLACSの「連絡事項」でお知らせします
	。 必ずLACSを確認するようにしてください。
学生へのメッセージ/Message for students	2 / I to Cappy Son Fig. 5
実務経験のある教員による授業科目であるか	NI NI
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	IN .
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	前置詞、融合形
第2回	従属接続詞と副文、6課残り
第3回	話法の助動詞
第4回	未来形、7課残り
第5回	分離動詞、非分離動詞
第6回	再帰、非人称主語es、8課残り
第7回	形容詞の格変化
第8回	形容詞の名詞化、比較、9課残り
第9回	動詞の三基本形
第10回	動詞の三基本形、過去形、10課残り
第11回	完了形(主に現在完了形)等
第12回	受動態
第13回	zu不定詞・分詞、12課残り
第14回	指示代名詞・関係代名詞
第15回	補足、予備

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火/Tue 3
用講期間/Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード/Time schedule code	20240590019003	科目番号 / Course code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11219_032		
授業科目名/Course title	ドイツ語 (G1~G3) / German		
編集担当教員 / Instructor in charge of the			
course syllabus	葉柳 和則 / Kazunori Hayanagi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	葉柳 和則/Kazunori Hayanagi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	葉柳 和則/Kazunori Hayanagi		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習),		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習/Seminar
教室 / Class room		て化51番講義室/SGHSS Lecture R	
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	G1~G3	5.5 - Harris T. 5566 Editario II	
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hayanagi nagasaki-u.ac.jp(メ		
担当教員研究室/Office	多文化社会学部2号館(総合教育研		(1,000)
担当教員TEL/Tel	hayanagi nagasaki-u.ac.jp(メ		てください。)
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時。事前にメールでアポを取っ		(1/221.6)
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ドイツ語の基本を身に付ける。	C (72C).	
授業到達目標/Course goals	ドイツ語検定4級合格レベルのドイツ語運用ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲			
しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 definition tilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される from teachers the lesson or to think over Activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 definition of the content of the lesson or to think over Activities involving others to think from various perspectives for acquiring skills D. Regularity of the comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される brack the lesson or to think over 		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	予習・復習の実行状況 (15%) 講義中の取り組み方 (15%) 定期試験 (70%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson			
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	事前学習、事後学習は必須。事前学習は30分、事後学習は90分を標準とするが、各課の内容によってその都度指示する。		
キーワード/Keywords	ヒアリング、スピーキング、読解		
教科書・教材・参考書/Materials	阿部美規『やさしいドイツ語 初級文法(Grundgrammatik des Deutschen)』同学社(2024) 独和辞典については講義中に指示(使いやすい辞書を紹介するので自分の判断で買わないでください)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2974 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考/Remarks	対面で実施します。		
学生へのメッセージ/Message for students	各回に提示する課題にきちんと取	 り組むことが何より大切です。	
J J _ J / moodago Tot ottaonto	1 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1		

実務経験のある教員による授業科目であるか	N
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	n e e e e e e e e e e e e e e e e e e e
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
	ドイツ語Iの復習
~~. ¬	話法の助動詞
第1回	語彙を増やそう
	会話練習
	未来形
第2回	語彙を増やそう
	会話練習
	分離動詞・非分離動詞
第3回	語彙を増やそう
	会話練習
	接続詞
第4回	語彙を増やそう
	会話練習
	動詞の3基本形
第5回	語彙を増やそう
	会話練習
	過去形
第6回	語彙を増やそう
	会話練習
	現在完了形
第7回	語彙を増やそう
	会話練習
	受動態
第8回	語彙を増やそう
	会話練習
	形容詞の格変化
第9回	語彙を増やそう
	会話練習
	比較級と最上級
第10回	語彙を増やそう
	会話練習
	再帰代名詞・再帰動詞
第11回	語彙を増やそう
	会話練習
	zu不定詞
第12回	語彙を増やそう
	会話練習
	関係代名詞
第13回	語彙を増やそう
	会話練習
	接続法
第14回	語彙を増やそう
	会話練習
第15回	会話練習まとめ
第16回	試験
ઋ·□□	RAVING 不

学期 / Samostor	2024年度 / Academic Year 後期	哪口,拉哇 / Doy , Doried	± / Thu 4
学期 / Semester	/Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 4
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択/Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード/Time schedule code	20240590019004	科目番号 / Course code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11219_032		
授業科目名/Course title	ドイツ語 (J3_T5~T9)/Germa	n	
編集担当教員 / Instructor in charge of the	 竹田 桜/Sakura Takeda		
course syllabus	1) H 1X / Gallara Talloda		
授業担当教員名(科目責任者)	 竹田 桜/Sakura Takeda		
/ Instructor in charge of the course	13.7 12. 12. 12. 12. 12. 12. 12. 12. 12. 12.		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	竹田 桜/Sakura Takeda		
科目分類/Course Category	A科目群 外国語科目(初習),	外国語科目	
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習/Seminar
教室/Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	J3_T5 ~ T9		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kirsch2011dasenka gmail.com(メールをする際は、 を@に置き換え	こてください。)
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、日常生活や簡単な文章の理解に必要な初級文法事項を 理解する。		
授業到達目標/Course goals	・発音の基本ルールを理解する。 ・初級文法事項に基づき、簡単な読解、作文、聞き取り、会話ができるようになる。 ・ドイツ語検定4級合格レベルのドイツ語運用ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding		
しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than	Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability		
knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	to exchange ideas 国際・地域社会への関心/Interest in international / local society		
the source (prox 1 to 0)	A.授業内容の理解度を確認した	り自分で考えさせたりする活動 <br< td=""><td>>/ Activities to check the</td></br<>	>/ Activities to check the
	degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over		
		関わる活動 / Activities invo	Iving others to think from
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching	various perspectives	動 shrs / Activities to proctice	for cogniting skills
字主の志号を内住化させるための技業子法/Teaching method to stimulate students' thinking		動 / Activities to practice 的に活用する活動 br>/ Activitie	
g	utilize knowledge to solve pro		
	E.上記以外の学生の思考の活性	化を促す授業手法 / Teaching	methods to stimulate
	students' thinking other than		
	F.教員からの講義のみで構成される 大きないのでは、		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation		状況に応じて宿題チェックや習熟度	確認テストを行います)
	定期試験 (50%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	 詳細は授業計画詳細を参照		
		ついて目を通し、分からない単語が	あれば調べておくこと。
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	指示された部分の音読をしておく	こと(60分)。	
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	指示された部分の音読をしておく (事後学習)状況に応じて宿題チ	こと(60分)。 ェックや習熟度確認テストを行いま	
	指示された部分の音読をしておく (事後学習)状況に応じて宿題チ さい(60分)。実施方法について	こと(60分)。 ェックや習熟度確認テストを行いま は講義中に説明します。	
事前、事後学修の内容/Preparation & Review キーワード/Keywords	指示された部分の音読をしておく (事後学習)状況に応じて宿題チ	こと(60分)。 ェックや習熟度確認テストを行いま は講義中に説明します。 ドイツ語検定	す。しっかり復習をしてくだ
	指示された部分の音読をしておく (事後学習)状況に応じて宿題チ さい(60分)。実施方法について 発音、聴解、文法、読解、作文、	こと(60分)。 ェックや習熟度確認テストを行いま は講義中に説明します。 ドイツ語検定 話すための文法 web練習問題付』	す。しっかり復習をしてくだ
キーワード/Keywords	指示された部分の音読をしておく (事後学習)状況に応じて宿題チ さい(60分)。実施方法について 発音、聴解、文法、読解、作文、 ・清野智昭 『ドイツ語の時間 *生協書籍部で購入してください	こと(60分)。 ェックや習熟度確認テストを行いま は講義中に説明します。 ドイツ語検定 話すための文法 web練習問題付』 ۱。	す。しっかり復習をしてくだ
キーワード/Keywords 教科書・教材・参考書/Materials	指示された部分の音読をしておく (事後学習)状況に応じて宿題チ さい(60分)。実施方法について 発音、聴解、文法、読解、作文、 ・清野智昭 『ドイツ語の時間 *生協書籍部で購入してください ・独和辞典 ・やむを得ない事情がない限り、 ・再履修希望者は必ず最初の授業	こと(60分)。 ェックや習熟度確認テストを行いま は講義中に説明します。 ドイツ語検定 話すための文法 web練習問題付』 ۱。	す。しっかり復習をしてくだ
キーワード/Keywords	指示された部分の音読をしておく (事後学習)状況に応じて宿題チ さい(60分)。実施方法について 発音、聴解、文法、読解、作文、 ・清野智昭 『ドイツ語の時間 *生協書籍部で購入してください ・独和辞典 ・やむを得ない事情がない限り、 ・再履修希望者は必ず最初の授業 ます。	こと(60分)。 ェックや習熟度確認テストを行いま は講義中に説明します。 ドイツ語検定 話すための文法 web練習問題付』 い。 毎回出席すること。	す。しっかり復習をしてくだ 朝日出版社 合は受講できないことがあり

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先		
	(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2974 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考/Remarks	・授業は対面形式で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合もあります。その場合はLACSで連絡します。 ・「ドイツ語共通指導項目」に記載の以下の項目につきましては、授業の中で適宜扱うこととしております。 ・定冠詞・不定冠詞 *ドイツ語共通指導項目 https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/general/syllabus/file/german-		
W. I.	kyoutsuushidoukoumoku.pdf		
学生へのメッセージ/Message for students	授業への取り組みも成績に反映されますので、積極的に参加してください。 		
実務経験のある教員による授業科目であるか	N .		
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教			
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使			
用)/Name / Details of practical experience /			
Contents of course			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	授業オリエンテーション *対面 Lektion 4 副文		
第2回	Lektion 5 人称代名詞の3・4格と再帰代名詞、再帰動詞、名詞の2格(1) *対面		
第3回	Lektion 5 人称代名詞の3・4格と再帰代名詞、再帰動詞、名詞の2格(2) *対面 再帰表現と前置詞の組合せによる慣用表現		
第4回	Lektion 6 冠詞類(1) *対面		
第5回	Lektion 6 冠詞類(2) *対面		
第6回	Lektion 7 zu 不定詞、分離動詞、話法の助動詞(1) *対面		
第7回	Lektion 7 zu 不定詞、分離動詞、話法の助動詞(2) *対面 非分離動詞		
第8回	Lektion 8 過去形・現在完了形、受動態(1) *対面		
第9回	Lektion 8 過去形・現在完了形、受動態(2) *対面		
第10回	Lektion 8 過去形・現在完了形、受動態(3) *対面		
第11回	Lektion 9 形容詞の格変化、比較級と最上級(1) *対面		
第12回	Lektion 9 形容詞の格変化、比較級と最上級(2) *対面		
	Lektion 10 関係代名詞、命令形(1) *対面		
第13回	Lektion 10 関係代名詞、命令形(1) *対面		
第13回 第14回	Lektion 10 関係代名詞、命令形(1) * 対面 Lektion 10 関係代名詞、命令形(2) * 対面		

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 後期 /Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 3
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード/Time schedule code	20240590019005	科目番号 / Course code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11219_032		
授業科目名/Course title	ドイツ語 (M4~M6_K1~K3)/G	erman	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	竹田 桜/Sakura Takeda		
授業担当教員名(科目責任者)	竹田 桜/Sakura Takeda		
/ Instructor in charge of the course			
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	竹田 桜/Sakura Takeda		
科目分類 / Course Category	A科目群 外国語科目(初習),:	外国語科目	
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習/Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	M4 ~ M6_K1 ~ K3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kirsch2011dasenka gmail.com(メールをする際は、 を@に置き換え	にてください。)
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室	, ,, e, e, sie, e, e	
担当教員TEL/Tel	095-819-2078(教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、日常生活や簡単な文章の理解に必要な初級文法事項を 理解する。		
授業到達目標/Course goals	・発音の基本ルールを理解する。 ・初級文法事項に基づき、簡単な読解、作文、聞き取り、会話ができるようになる。 ・ドイツ語検定4級合格レベルのドイツ語運用ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	Diversity 土体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする月 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ Activities that comprehensively Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への参加状況 (25%) 予習・復習への取り組み (25%…状況に応じて宿題チェックや習熟度確認テストを行います) 定期試験 (50%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(事前学習)授業前に次の範囲について目を通し、分からない単語があれば調べておくこと。 指示された部分の音読をしておくこと(60分)。 (事後学習)状況に応じて宿題チェックや習熟度確認テストを行います。しっかり復習をしてください(60分)。実施方法については講義中に説明します。		
キーワード/Keywords	発音、聴解、文法、読解、作文、	ドイツ語検定	
教科書・教材・参考書/Materials	・清野智昭 『ドイツ語の時間 *生協書籍部で購入してください・独和辞典		朝日出版社
受講要件(履修条件)/Prerequisites	・ 地和辞典 ・ やむを得ない事情がない限り、毎回出席すること。 ・ 再履修希望者は必ず最初の授業に出席すること。大規模クラスの場合は受講できないことがあります。 ・ 独和辞典を必ず持参してください。辞書を持ってきているという前提で授業を進めます。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先		
	(TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2974 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考/Remarks	・授業は対面形式で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合もあります。その場合はLACSで連絡します。 ・「ドイツ語共通指導項目」に記載の以下の項目につきましては、授業の中で適宜扱うこととしております。 ・定冠詞・不定冠詞 *ドイツ語共通指導項目 https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/general/syllabus/file/german-		
W. I.	kyoutsuushidoukoumoku.pdf		
学生へのメッセージ/Message for students	授業への取り組みも成績に反映されますので、積極的に参加してください。 		
実務経験のある教員による授業科目であるか	N .		
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教			
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使			
用)/Name / Details of practical experience /			
Contents of course			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	授業オリエンテーション *対面 Lektion 4 副文		
第2回	Lektion 5 人称代名詞の3・4格と再帰代名詞、再帰動詞、名詞の2格(1) *対面		
第3回	Lektion 5 人称代名詞の3・4格と再帰代名詞、再帰動詞、名詞の2格(2) *対面 再帰表現と前置詞の組合せによる慣用表現		
第4回	Lektion 6 冠詞類(1) *対面		
第5回	Lektion 6 冠詞類(2) *対面		
第6回	Lektion 7 zu 不定詞、分離動詞、話法の助動詞(1) *対面		
第7回	Lektion 7 zu 不定詞、分離動詞、話法の助動詞(2) *対面 非分離動詞		
第8回	Lektion 8 過去形・現在完了形、受動態(1) *対面		
第9回	Lektion 8 過去形・現在完了形、受動態(2) *対面		
第10回	Lektion 8 過去形・現在完了形、受動態(3) *対面		
第11回	Lektion 9 形容詞の格変化、比較級と最上級(1) *対面		
第12回	Lektion 9 形容詞の格変化、比較級と最上級(2) *対面		
	Lektion 10 関係代名詞、命令形(1) *対面		
第13回	Lektion 10 関係代名詞、命令形(1) *対面		
第13回 第14回	Lektion 10 関係代名詞、命令形(1) * 対面 Lektion 10 関係代名詞、命令形(2) * 対面		

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 後期 /Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 4
開講期間/Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード/Time schedule code	20240590019006	科目番号 / Course code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11219_032		
授業科目名/Course title	ドイツ語 (M1~M3_D1・D2)/G	erman	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	竹田 桜/Sakura Takeda		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	竹田 桜/Sakura Takeda		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	竹田 桜/Sakura Takeda		
科目分類 / Course Category	┃ 	小国 外国	
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	1, 2, 3, 4 教養教育A棟22 / RoomA-22	開我//恋 / Oourse Style	/A E / OCIIITIAI
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	教養教育Afk22 / ROOIIIA-22 M1~M3_D1・D2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kirsch2011dasenka gmail.com(メールをする際け たるに罢き始っ	 にてください。)
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室	アールでするほは、 そのに直の投入	LC(/LCVI。)
担当教員研究至/011106 担当教員TEL/Tel			
担当教員プログログ 担当教員オフィスアワー/Office hours	095-819-2078 (教養教育事務室) 授業の前後		
担当教員オフィスアワー/Office nours			理解に必要な知処立注事項を
授業の概要及び位置づけ/Course overview	アイラ語光白の基本的ルールをマー 理解する。	スター し、口吊主心や間半な又草の	理解に必要は例級又広事項を
授業到達目標/Course goals	・発音の基本ルールを理解する。 ・初級文法事項に基づき、簡単な読解、作文、聞き取り、会話ができるようになる。 ・ドイツ語検定4級合格レベルのドイツ語運用ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲 しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力/Generic Competence 倫理観/Ethics 多様性の理解/Understanding Diversity 主体性/Autonomy 協働性/Cooperativeness 考えをやり取りする力/Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心/Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 doncinumation of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 doncinumation of the contents to the lesson or to think over Activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 doncinumation of the contents of the lesson or to think from various perspectives E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への参加状況(25%) 予習・復習への取り組み(25%…状況に応じて宿題チェックや習熟度確認テストを行います) 定期試験(50%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(事前学習)授業前に次の範囲について目を通し、分からない単語があれば調べておくこと。 指示された部分の音読をしておくこと(60分)。 (事後学習)状況に応じて宿題チェックや習熟度確認テストを行います。しっかり復習をしてください(60分)。実施方法については講義中に説明します。		
キーワード/Keywords	発音、聴解、文法、読解、作文、	ドイツ語検定	
教科書・教材・参考書/Materials	・清野智昭 『ドイツ語の時間 *生協書籍部で購入してください・独和辞典		朝日出版社
受講要件(履修条件)/Prerequisites	・やむを得ない事情がない限り、・再履修希望者は必ず最初の授業ます。	毎回出席すること。 に出席すること。大規模クラスの場 い。辞書を持ってきているという前	

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では,全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため,修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては,担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2974
	(E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	・授業は対面形式で実施します。最初の回に授業計画を説明しますが、状況によって変更する場合もあります。その場合はLACSで連絡します。 ・「ドイツ語共通指導項目」に記載の以下の項目につきましては、授業の中で適宜扱うこととしております。 ・定冠詞・不定冠詞 *ドイツ語共通指導項目 https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/campuslife/course/general/syllabus/file/german-
W. I.	kyoutsuushidoukoumoku.pdf
学生へのメッセージ/Message for students	授業への取り組みも成績に反映されますので、積極的に参加してください。
実務経験のある教員による授業科目であるか	N .
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience 実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業オリエンテーション *対面 Lektion 4 副文
第2回	Lektion 5 人称代名詞の3・4格と再帰代名詞、再帰動詞、名詞の2格(1) *対面
第3回	Lektion 5 人称代名詞の3・4格と再帰代名詞、再帰動詞、名詞の2格(2) *対面 再帰表現と前置詞の組合せによる慣用表現
第4回	Lektion 6 冠詞類(1) *対面
第5回	Lektion 6 冠詞類(2) *対面
第6回	Lektion 7 zu 不定詞、分離動詞、話法の助動詞(1) *対面
第7回	Lektion 7 zu 不定詞、分離動詞、話法の助動詞(2) *対面 非分離動詞
第8回	Lektion 8 過去形・現在完了形、受動態(1) *対面
第9回	Lektion 8 過去形・現在完了形、受動態(2) *対面
第10回	Lektion 8 過去形・現在完了形、受動態(3) *対面
第11回	Lektion 9 形容詞の格変化、比較級と最上級(1) *対面
第12回	Lektion 9 形容詞の格変化、比較級と最上級(2) *対面
第13回	Lektion 10 関係代名詞、命令形(1) *対面
第13回 第14回	Lektion 10 関係代名詞、命令形(1) * 対面 Lektion 10 関係代名詞、命令形(2) * 対面

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金/Fri 4
開講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード/Time schedule code	20240590019007	科目番号 / Course code	05900190
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11219_032		
授業科目名/Course title	ドイツ語 (J1・J2_T1~T4)/G	erman	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	村上 浩明/Murakami Hiroaki		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	村上 浩明/Murakami Hiroaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	村上 浩明/Murakami Hiroaki		
科目分類 / Course Category	▲ A科目群 外国語科目(初習),:		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	7	H-3-32/17/24 / CCC 1 CC C C C Y 1 C	IAE / Commun
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	J1 · J2_T1 ~ T4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	murakami tc.nagasaki-gaigo.ac	in / メールをする際け を配に署	
	非常勤講師控室	.] p (クールをする际は、 を に 直	e 探ん C \ /c C N。)
担当教員研究室/Office	平吊期碑即任至 		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後	フク 1 日常生活が終めた立在の	四級中必而わ初级立法事项を
授業の概要及び位置づけ/Course overview	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、日常生活や簡単な文章の理解に必要な初級文法事項を 理解する。主として主文の現在形・現在完了形・過去形で、簡単な読解・作文・会話ができる。ド イツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業到達目標/Course goals	1 . ドイツ語の発音の基本ルールを理解し、正確な発音で読める。 2 . ドイツ語の初級文法に基づき、簡単な読解、作文、聞き取り、会話ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	Diversity 土体性 / Autonomy		理解/Understanding えをやり取りする力/Ability national / local society
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 various perspectives C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために実践する活動 C.技能修得のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 br>/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業への参加状況:20% 課題・小テスト:30% 定期試験:50%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	毎回、最低1時間の予習・復習が必要です。 授業で練習したキーフレーズは何度も練習して書けるようにしておいて下さい。 教科書の練習問題等を課題とすることがあるので、その際にはしっかり準備して授業に臨んで下さい。		
キーワード/Keywords	ドイツ語、動詞の現在人称変化、名詞の格変化、冠詞類、前置詞		
教科書・教材・参考書/Materials	清野智昭著『Lernplatz Deutsch((ドイツ語の広場)』、同学社、2019	9年。
受講要件(履修条件)/Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	的障壁の除去及び合理的配慮の提	5-819-2974	る合理的配慮等のサポートに

備考/Remarks	授業は原則対面で行います。事情により学期に数回オンラインで授業を行う可能性もありますが、 その場合は事前にLACSで連絡します。
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか	N
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N .
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使	
用)/Name / Details of practical experience /	
Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業オリエンテーション
第1回	Lektion 7 人称代名詞の3格と4格、再帰動詞
第2回	Lektion 7 人称代名詞の3格と4格、再帰動詞
第3回	Lektion 7 人称代名詞の3格と4格、再帰動詞
	(再帰表現と前置詞の組合せによる慣用表現)
第4回	Lektion 8 分離動詞と副文
第5回	Lektion 8 分離動詞と副文
	(非分離動詞)
第6回	Lektion 9 話法の助動詞
第7回	Lektion 9 話法の助動詞
第8回	Lektion 10 定冠詞類と形容詞
第9回	Lektion 10 定冠詞類と形容詞
第10回	Lektion 10 定冠詞類と形容詞
第11回	Lektion 11 過去形と現在完了形
第12回	Lektion 11 過去形と現在完了形
第13回	Lektion 11 過去形と現在完了形
第14回	Lektion 12 接続法第2式
第15回	Lektion 12 接続法第2式
第16回	定期試験

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 前期 /First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 1
開講期間 / Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29		
必修選択 / Required / Elective	必修,選択/required, elective	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード/Time schedule code	20240590021001	科目番号 / Course code	05900210
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11319_032		
授業科目名/Course title	ドイツ語 (2G1~2G3)/German		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	GUELBEYAZ ABDURRAHMAN		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	GUELBEYAZ ABDURRAHMAN		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	GUELBEYAZ ABDURRAHMAN		
科目分類 / Course Category	┃ B科目群 外国語科目(初習),∶		
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room			IXE 7 COMMING
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	2G1 ~ 2G3	\··/	
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a.guelbeyaz nagasaki-u.ac.jp(・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	えてください。)
担当教員研究室/Office	総合教育研究棟	VE VENDONIA CONTECTO	72 (72 (72 (73)
担当教員TEL/Tel	a.guelbeyaz nagasaki-u.ac.jp(えてください。)
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後	TO WE TO SMICE COLLECTION	/C C (/CCV16)
JEJARO DI ANDIO TOURS		言語共诵参昭枠)の初級段階となる	(A1) レベル (ドイツ語 ・
授業の概要及び位置づけ/Course overview	この授業では、CEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)の初級段階となる(A1)レベル(ドイツ語・ドイツ語)を修了した学生を、基礎レベルとなる次の(A2)レベルに導き、レベルの半ば(A2.1)に引き上げ、同時にドイツやヨーロッパ社会を発端に、グローバル社会の諸方面・諸問題への接触を可能にする。		
授業到達目標/Course goals	出来事の理由を問う、質問に答えること。過去のことを時系列に表現すること。休暇などに関する会話をすること。身近な人に関して話すこと。行方・経路・行先に関して話すこと。簡易メッセージを読むこと。出来事の頻度を表すこと。台所用具を命名して、食事に関して話すこと。料理店で注文し、食事の苦情を説明すること。提案や謝絶すること、因果関係について話すこと。何すべきか、何したらいいかを言うこと。再帰動詞を使って表現すること。人が何を考えているか、何を信じているかについて話すこと。教育機関・教育機会に関する会話をすること、贈り物に関して話し、誰に与えられるか等について話すことが出来るようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 主体性 / Autonomy 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 dtilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	平素の学習(授業への積極的参加	、宿題、小テスト等)50%、定期試験	倹(筆記試験)50%
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照 		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	[事前学習] 授業までに一週間前に配布された資料を読み込んでくる。「復習・練習・確認」のセッションでは 小テストをする可能性があるので、必ず予習してくる。 (2h) [事後学習] 復習テキストと宿題をして理解を確実にするように努めること。「言葉は何よりもまず単語である こと」を心にとどめ、積極的に使える語彙の数を日常生活においても増やす。 (2h)		
キーワード/Keywords	使用 (言葉とは学ぶものではなく 語彙 (言葉は文法ではなく何より	初接触から使うものである。)	
教科書・教材・参考書/Materials	詳しい話を最初の授業でします。 基本的には、自作の資料を事前に	配布、又はメールで送ります。	

受講要件(履修条件)/Prerequisites	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2974 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	授業の実施方法・対面
学生へのメッセージ/Message for students	「ドイツ語が難しい」という虚言に耳を傾けないでください。「難しい言葉」は基本的に存在していません。ドイツ語は極めて構造化されてある点で、逆に「簡単」だと思ってもおかしくありません。
実務経験のある教員による授業科目であるか	N
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	授業方法・学習法の説明; ドイツ語で自己紹介; 習得したドイツ語の確認
第2回	動詞の話 その (定形動詞・不定形動詞; 単純動詞・複合動詞; 分離動詞・非分離動詞; 自動詞・他動詞; 動詞の時制; 現在・過去・過去完了の復習)
第3回	『「動詞の話 その (定形動詞・不定形動詞; 単純動詞・複合動詞; 分離動詞・非分離動詞; 自動詞・他動詞; 動詞の時制; 現在・過去・過去完了の復習)』の復習・練習・確認
第4回	名詞の話 (性、数、格; 定名詞・不定名詞;所有格/属格)
第5回	『名詞の話 (性、数、格; 定名詞・不定名詞;所有格/属格)』の復習・練習・確認
第6回	動詞の話 その (再帰動詞; 規則動詞・不規則動詞の時制の仕組みの比較; 否定)
第7回	『動詞の話 その (再帰動詞; 規則動詞・不規則動詞の時制の仕組みの比較; 否定)』の復習・練習・確認
第8回	複文の構造 その (主文・従属節・接続詞); 理由を表す副詞節、条件を表す副詞節
第9回	『複文の構造 その (主文・従属節・接続詞); 理由を表す副詞節、条件を表す副詞節』の復習 ・練習・確認
第10回	動詞の目的語・目的格; 複文の構造 その (主節・目的節)
第11回	『動詞の目的語・目的格; 複文の構造 その (主節・目的節)』の復習・練習・確認
第12回	前置詞; 前置詞付き目的語を統率する動詞
第13回	『前置詞; 前置詞付き目的語を統率する動詞』の復習・練習・確認
第14回	動詞の話 その (動詞の法: 直説法・仮定法); 仮定法の使用法(丁寧な表現など)
第15回	『動詞の話 その (動詞の法: 直説法・仮定法); 仮定法の使用法(丁寧な表現など)』の復習・練習・確認
第16回	定期試験

学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 前期 (First Company) 曜日・校時 / Day・Period	他/Others O
日日 -	/ First Semester	
開講期間/Course duration	2024/04/01 ~ 2024/09/29	
必修選択 / Required / Elective	必修,選択/required, elective 単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード/Time schedule code	20240590021002 科目番号 / Course code	05900210
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEGR 11319_032	
授業科目名/Course title	【Online】 ドイツ語 (再履修)/German	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	清原 明代/Kiyohara Akiyo	
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	清原 明代/Kiyohara Akiyo	
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	清原 明代/Kiyohara Akiyo	
科目分類/Course Category	B科目群 外国語科目(初習),外国語科目	
対象年次 / Intended year	2, 3, 4 講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	オンライン	
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	再履修	
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kiyohara_akiyo yahoo.co.jp(メールをする際は、 を@に置き換え	てください。)
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室	. ,
世当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)	
担当教員オフィスアワー/Office hours	kiyohara_akiyo yahoo.co.jp(メールをする際は、 を®に置き換えてください。)	
授業の概要及び位置づけ/Course overview	文法(特に「動詞の形」「名詞句の形」「語順」)に着目し、ドイツ語の理解をより深めることを目的とした授業です(初級文法既習者対象)。	
授業到達目標/Course goals	・ドイツ語 、 で学んだ知識が定着する。 ・I 、 で未修の文法事項を知る。 ・ドイツ語文インプット時の理解が深まり、アウトプット時の迷いが減る。	
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	河田的能力 / Generic Competence 倫理知 / Ethics 名様性の理解 / Understanding	
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B.多角的に考えるために他者と関わる活動 br>/ Activities involving others to think from various perspectives C.技能修得のために実践する活動 b.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 c.対はivities to practice for acquiring skills D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 c.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 b.出記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 	
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	最終課題(定期試験相当、点数重視)…約7割。平常点(普段の課題の提出状況:点数よりも、期限や指定した形式を守れているかを評価)…約3割。 学期中に実際に課された課題の回数や難易度によって多少比率が変わるかもしれませんが、試験相当の最終課題の占める割合が大きい(約7割)ことは変わりません。	
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【事前学習】授業前に次の授業範囲について目を通し、分からない単語があれば調べておいてください。予習としての練習課題を出す場合もあります(2h)。 【事後学習】復習課題がある場合は、課題を解きながらその回の学習内容を再確認してください。 課題がない場合も、自分なりに学習内容を振り返るようにしてください(2h)。	
キーワード/Keywords		
教科書・教材・参考書/Materials	・在間進 『Ach so! Alles klar!(おさらいドイツ語 納得!ドイツ記 社	らってそうなのか)』朝日出版
受講要件(履修条件)/Prerequisites	特になし	

	2024年度 / Acadomia Vaar 然世		
学期 / Semester	2024年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木/Thu 2
用講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
		単位数(一般/編入/留学)/Credits	
必修選択 / Required / Elective	必修,選択/required, elective	(General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード/Time schedule code	20240590023001	科目番号 / Course code	05900230
科目ナンバリングコード/Numbering code	GEGR 11419_032		
授業科目名/Course title	ドイツ語 (2G1~2G3)/German		
編集担当教員 / Instructor in charge of the	GUELBEYAZ ABDURRAHMAN		
course syllabus	7.5551.11.11.11.11		
授業担当教員名(科目責任者)	GUELBEYAZ ABDURRAHMAN		
/ Instructor in charge of the course			
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	GUELBEYAZ ABDURRAHMAN		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(初習),	外国語科目	
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室/Class room		,	
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	2G1 ~ 2G3	. ,	
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a.guelbeyaz nagasaki-u.ac.jp(えてください。)
	総合教育研究棟	(
担当教員TEL/Tel	a.guelbeyaz nagasaki-u.ac.jp(えてください。)
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後	`	. ,
	ドイツ語 を受けた学生に、CEFR	(ヨーロッパ言語共通参照枠)の基	礎上段階となる(A2.2)レベ
授業の概要及び位置づけ/Course overview		にドイツやヨーロッパ社会を発端に	、グローバル社会の諸方面・
	諸問題への接触を可能にする。		
授業到達目標/Course goals	制約する条件等を表すこと。可能性、予定、イベント、活動等に関して話すこと。形容詞をより上手に使って、比較級と最上級をふさわしく使うこと。パンフレットやちらしの内容がわかること。郵便局・郵便サービスを利用すること。好み・優先傾向、物事の種類に関して話すこと。動きの諸種類を表現すること。異なる気象条件、スケジュール、旅行計画について話すこと。物事の欠如を表現すること。はがき等を書く・読むこと。異なる場面でいろいろなことについて人に問い合わせること、銀行サービス等を利用すること。受動態を使って話すこと。除法動詞を適切に使うこと。助言を与えること。対立に対応・管理すること。行動・過程・出来事の結果について話すことができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	羽用的能力/Generic Competence 倫理観/Ethics 多様性の理解/Understanding		
the course (pick i to 3)	A.授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 br>/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	B.多角的に考えるために他者と関わる活動 br>/ Activities involving others to think from various perspectives		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	平素の学習(授業への積極的参加、	、宿題、小テスト等)50%、定期試験	倹(筆記試験)50 %
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	(事前学習) 授業までに一週間前に配布された資料を読み込んでくる。「復習・練習・確認」のセッションでは 小テストをする可能性があるので、必ず予習してくる。(2h) [事後学習] 復習テキストと宿題をして理解を確実にするように努めること。「言葉は何よりもまず単語である こと」を心にとどめ、積極的に使える語彙の数を日常生活においても増やす。(2h)		
キーワード/Keywords	使用(言葉とは学ぶものではなく 語彙(言葉は文法ではなく何より		

教科書・教材・参考書/Materials	詳しい話を最初の授業でします。 基本的には、自作の資料を事前に(遅くとも一週間前に)配布、又はメールで送ります。	
受講要件(履修条件)/Prerequisites	金や切には、日下の負荷で事前に(近くこう た同前に) 記事、人はか かくたりよう。	
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2974 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考/Remarks	授業の実施方法・対面	
学生へのメッセージ/Message for students	「ドイツ語が難しい」という虚言に耳を傾けないでください。「難しい言葉」とは基本的に存在していません。ドイツ語は極めて構造化されている言葉という点で、逆に「簡単」だと思ってもおかしくありません。	
実務経験のある教員による授業科目であるか	N	
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	IN .	
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents	
第1回	ドイツ の選択的復習; 動詞の法; 複文	
第2回	『ドイツ の選択的復習; 動詞の法; 複文』の復習・練習・確認	
第3回	与格を取る前置詞、場所や方向の表現 ; 形容詞変化 ; 譲歩節・譲歩を表す構造	
第4回	『与格を取る前置詞、場所や方向の表現 ; 形容詞変化 ; 譲歩節・譲歩を表す構造』の復習・練習・確認	
第5回	物事の比較、助言、意見を表す方法や構造 ; 対格を取る前置詞	
第6回	『物事の比較、助言、意見を表す方法や構造 ; 対格を取る前置詞』の復習・練習・確認	
第7回	関係詞節 ; 話し言葉によく使う不変化詞 ; 本動詞の意味に応じて与格か対格を取る前置詞	
第8回	『関係詞節 ; 話し言葉によく使う不変化詞 ; 本動詞の意味に応じて与格か対格を取る前置詞』の 復習・練習・確認	
第9回	時の副詞節; 前置詞付き目的語を統率する動詞	
第10回	『時の副詞節; 前置詞付き目的語を統率する動詞』の復習・練習・確認	
第11回	「zu」付き不定詞節; 結果節・結果を表す構造; 属格を取る前置詞	
第12回	『「zu」付き不定詞節; 結果節・結果を表す構造; 属格を取る前置詞』の復習・練習・確認	
第13回	受動態 ; 目的節・目的を表す構造	
第14回	『受動態 ; 目的節・目的を表す構造』の復習・練習・確認	
第15回	まとめ・選択的復習	
第16回	定期試験	

学期 / Semester	2024年度/Academic Year 後期 /Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他/Others O
用講期間 / Course duration	2024/09/30 ~ 2025/03/31		
必修選択/Required / Elective	必修,選択/required, elective	単位数(一般/編入/留学)/Credits (General /Transfer/Overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード/Time schedule code	20240590023002	科目番号 / Course code	05900230
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEGR 11419_032		
授業科目名/Course title	【Online】 ドイツ語 (再履修)	/German	
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	清原 明代/Kiyohara Akiyo		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	清原 明代/Kiyohara Akiyo		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	清原 明代/Kiyohara Akiyo		
科目分類 / Course Category	B科目群 外国語科目(初習),	外国語科目	
対象年次 / Intended year	2, 3, 4	講義形態/Course style	演習/Seminar
教室/Class room	オンライン		
対象学生(クラス等) /Intended year (class)	再履修		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kiyohara_akiyo yahoo.co.jp(メ	ールをする際は、 を@に置き換え	てください。)
担当教員研究室/Office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	kiyohara_akiyo yahoo.co.jp(メ	ールをする際は、 を@に置き換え	てください。)
授業の概要及び位置づけ/Course overview	文法(特に「動詞の形」「名詞句の 目的とした授業です(初級文法既	の形」「語順」)に着目し、ドイツ 習者対象)。	語の理解をより深めることを
授業到達目標/Course goals	・ドイツ語 、 で学んだ知識が定着する。・I 、 で未修の文法事項を知る。・ドイツ語文インプット時の理解が深まり、アウトプット時の迷いが減る。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	Diversity 土体性/Autonomy		- 1
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	D.問題解決のために知識を総合的に活用する活動 utilize knowledge to solve problems E.上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ Activities that comprehensively Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F.教員からの講義のみで構成される br>/ It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	最終課題(定期試験相当、点数重視)…約7割。平常点(普段の課題の提出状況:点数よりも、期限や指定した形式を守れているかを評価)…約3割。 学期中に実際に課された課題の回数や難易度によって多少比率が変わるかもしれませんが、試験相当の最終課題の占める割合が大きい(約7割)ことは変わりません。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法)/Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学修の内容/Preparation & Review	【事前学習】授業前に次の授業範囲について目を通し、分からない単語があれば調べておいてください。予習としての練習課題を出す場合もあります(2h)。 【事後学習】復習課題がある場合は、課題を解きながらその回の学習内容を再確認してください。 課題がない場合も、自分なりに学習内容を振り返るようにしてください(2h)。		
キーワード/Keywords			
教科書・教材・参考書/Materials	・在間進 『Ach so! Alles klar! 社	(おさらいドイツ語 納得!ドイツ語	唇ってそうなのか)』朝日出版
受講要件(履修条件)/Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先(TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-2974 (E-MAIL)support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考/Remarks	この授業は全てオンライン(オンデマンド型)で実施します。授業コンテンツおよび連絡事項は すべてLACSに掲載します。 指定の教科書とLACS上で提供する授業コンテンツを使って自学してください。 LACSには解説音声(mp3)、補足資料(pdf)、練習問題(小テスト機能)等を掲載します。 授業日に割り当てられている火曜日の5限頃にその回の授業コンテンツをアップします。原則と して、次の授業が更新されるまでの一週間の内に、授業内容の確認や課題の提出を行ってください。 (コンテンツを削除するわけではありませんので、いつでも過去の授業内容確認はできます。課題 についても、平常点が減点されますが、一週間を過ぎても提出可能です。)
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか	N.
(Y/N)/Instructor(s) with practical experience	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教	
育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)	
用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時)/Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	前期(ドイツ語 取扱い内容)復習
第2回	過去の表現(第9課)動詞の3基本形
第3回	過去の表現(第9課)過去形
第4回	過去の表現(第9課)現在完了形
第5回	接続法(第10課)接続法第1式
第6回	接続法(第10課)接続法第2式
第7回	比較表現(補足)
第8回	zu不定詞句(補足)
第9回	受動態(補足)
第10回	受動態(補足)続き
第11回	関係文(補足)
第12回	関係文(補足)続き
第13回	復習・練習問題
Arc	復習・練習問題
第14回	